



学校だより

12月号

横浜市立大道小学校
平成30年11月29日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 富岡 正雄

理想郷は、「日本アルプス」「屋久島」「富士山」・・・

ハウスダストや湿気、ウイルスや匂い等、空気に関する話題がよく報道されています。ある企業D社のアンケート調査結果によりますと、

- ・空気清浄機やエアコンの普及、クールビズ等の生活スタイルの変化により快適さが増した。
 - ・空気を意識する世代別結果では、若い世代ほど意識が強い。
(10代72.2%、20代71.1%、30代68.6%、60代以上64.9%)
 - ・新空気の三大理想郷は、「日本アルプス」「屋久島」「富士山」。
- また、別の企業P社のアンケート調査結果は、
- ・メインの空気清浄機の稼働時間は、【24時間フル稼働(38%)】が1位。

教育活動の中の「空気づくり」

各種教育活動時に、その集団の空気ですべてが大きく変わってることがあります。

- ・一人の発言で、それまでの停滞していた空気が変わり、前に向いた活動が活発になる。
- ・日頃から、興味・関心が強い学級の空気のおかげで、子どもたちの学習が意欲的になる。

KY【空気読む】からKT【空気つくる】へ

以前、KY【空気読めない】という略語が流行しました。空気を読むことは、大切なことですが、読むだけではなく、KT【空気をつくる】意識をもちたいものです。では、【空気をつくる】とは？

ここでいう【空気】とは、「場の空気」のことです。さらに言うと、**「場の空気」とは、「集団の価値観・判断基準」のこと**です。「その通り」だと感じたり、「そうやってみよう」と多くの人が受け入れたりすることができればその価値基準に違和感を覚えません。つまり、新しい価値観や通常言われていることが浸透していけば、【空気】の変化がおこり、【空気をつくる】ことにつながるのです。



ものまね細胞と言われる「ミラーニューロン」

ミラーニューロンとは、脳内にある神経細胞の一つです。この細胞は、自分が何か行動をする時だけでなく、他者がする行動を観た時にも活性化することが分かってきました。ミラーニューロンは、ものまね細胞と言われ、**他者がしていることを見て、自分のことのように感じる「共感能力」を司っている**と考えられています。自分の近くにいる人の言動や思考を無意識にモデリングしているそうです。**ミラーは、正に鏡。**

○励ます ○「ありがとう」を言う ○他者の発言を否定しない ○仲間意識をもつ等をする事によって、「共感能力」が刺激され、KT【空気をつくる】ことになり、各種教育活動が活性化し、子どもたちが**一步成長した自分に出会うことができます**。【空気をつくる】ことを少し意識して、毎日を過ごしていきたいものです。

(参考資料)『『空気』で人を動かす』 横山信弘著 フォレスト出版

「ミラーニューロンの発見」マルコ イアコポーニ著 ハヤカ・ノンフィクション文庫

「空気に対する意識調査」2017 ダイキン(株)

「空気清浄機に関するアンケート調査」2017,11,27 パナソニック(株)